

大阪農大願書受付中

WEB授業もスタート

100年以上の歴史を有する大阪農大は、「就農したい！」重視の学校です。令和7年度からは、Web授業を順次導入し、

「農業関係の技術者になりたい！」「大阪の農家で働きたい！」を実現するための実践の通学で知識と技術を習得する1年制「短期実践課程」を新設

し、就農に求められる知識と技能の習得をめざします。短期実践課程選考試験の願書受付期間は11月1日(金)～12月12日(木)。週5日通学の2年制総合課程

一般入学試験の願書受付期間は12月3日(火)～13日(金)。大阪農大HP: <https://www.knsc-osaka.jp/noudai/>(大阪農大提供)

今春、農業土木技術職として奉職した大阪府庁を退職いたしました。38年間の職務を全う出来たのは皆様方に、ご支援いただいたおかげと大変感謝しております。現在は大阪府土地改良事業団体連合会で、土地改良区や市町村等の会員皆様の農業農村整備事業の推進、農業用水水利施設などの保全や管理のお手伝いをさせていただいています。引き続きどうぞよろしく願います。

モノづくりがしたい！

しかし、課長補佐になると、直接現場に係わる機会が減り、次第にモノづくりを渴望するようになっていきました。そのような折、NHK教育テレビ番組

ここでオリジナルの情景を作る楽しさにはまり、今に至っています。心底には、10年前に廃館となった「交通科学博物館」のジオラマ展示へのあこがれもあつたと思います。

パーツづくりにも手を出し...

これまででは市販のキットを多用してきましたが、オリジナルパーツづくりに着手、石垣は発泡スチロール板表面を熱した粒を際立たせ着色、崖は観葉植物用のバークチップを使用、農業用鉄骨ハウスは銀色塗装したプラスチック棒と透明板で作成してみました。これにより、オリジナルパーツを発想する楽しみも加わってきました。

成を楽しんでいます。



都市近郊農村の情景—複線レイアウト(4ユニット連結)

技術者の知恵と知識を活かした情景づくり



大阪府土地改良事業団体連合会 常務理事 丹後 晋哉

機会をいただいたので、貴重な紙面を拝借し、私の趣味の鉄道模型のジオラマづくりを紹介させていただきます。

技術師、主査の頃は、圃場整備や農道整備の担当として、利用しやすさや工法見直しによる工事費を縮減、新しい技術の導入など様々な工夫をしながら、工事を進め、モノ

「趣味悠々」の鉄道模型のレイアウト作成入門の講座が目に残り、早速、テキストを購入し、A3サイズのNゲージ用(鉄道模型の規格)ミニレイアウトの解説に沿ってレイアウトづくりにチャレンジします。

建物などの造形は市販キットを用いて、古い街道の町並みと農家を情景とした第一作が完成、

大きなものが作りたくなりました。我が家でのスペースの確保問題から、30センチ×45センチのユニットを10個連結した作品に取り掛かりますが、1ユニットを作成したところで、ユニットの多さに情景アイデアが続かず、断念、休止。そのうちに作成意欲が復活、4作目として、60センチ×45センチユニットの4連結の都市近郊農村

「ブルージオ橋」を模した情景に取り組んでいます。ループ橋は画用紙を利用して何度も試作を繰り返し完成、次に織り込む景色を思案しながら作

筆者の紹介(たんご しんや)

昭和61年神戸大学農学部農業工学科卒業、大阪府庁入庁。「農空間」の立ち上げに関わる。南河内農と緑の総合事務所長、農政室長を歴任、令和6年3月末退職し、4月より現職。